

はじめに

現在、飛騨地域では国道41号の交通渋滞の緩和と緊急時輸送の確保を図るため、高山国府バイパス延長6.3kmが建設中であり、高山国府トンネル(仮称)も高山IC側からの掘削が平成21年5月から始まりました。

完成後は、あらゆる産業の交通連携の強化とともに緊急時の救急救命活動にも寄与されるものと期待されております。

飛騨保健所としましても、関係者の皆様方と連携しながら安心して生活できる地域づくりのため努力していきたいと考えております。今後ともご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

さて、飛騨地域の保健衛生の概要をまとめた『飛騨圏域の公衆衛生』ですが、今回、平成20年度統計版を発刊させていただきました。

本冊子の歴史は古く、旧高山保健所においては、飛騨公衆衛生協議会のご支援のもと、約45年前の昭和39年8月1日に「飛騨の公衆衛生」という名称で創刊されました。また、それ以前には、昭和30年に旧高山保健所より「公衆衛生要覧」という冊子が発刊されています。

同様に、旧益田保健所においては、益田公衆衛生協議会のご支援のもと、「益田の公衆衛生」が発刊されました。

「飛騨の公衆衛生」と「益田の公衆衛生」の発刊は、旧高山保健所と旧益田保健所がそれぞれ別の保健所であった平成11年度まで続き、平成12年度の県組織の再編により飛騨地域保健所となって以降、今日まで『飛騨圏域の公衆衛生』として毎年発刊する運びとなっております。

本冊子を業務の参考として広く活用していただければ幸いです。

平成22年3月

飛騨保健所長 小窪 和博